

発達障害のある子どもの理解と支援に関する研究

最終更新日：2015年8月28日

特別支援教育講座
教授
中山 健

キーワード

・発達障害 ・アセスメント ・DN-CAS ・学習支援

研究シーズの説明 (私は、このような研究に取り組んでいます。)

文部科学省の調査で通常の学級に在籍する発達障害が疑われる児童生徒が約6.5%であることが明らかになりました。私は研究でこの発達障害のある子どもにどのような支援をすればうまく学習できるかについて取り組んでいます。

具体的には以下のような項目に取り組んでいます。

- 発達障害のある子どもの理解
- 発達障害のある子どものアセスメント
- 発達障害のある子どもの指導法
- 学習支援を目的としたアプリケーションの開発

成果の応用可能性 (私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

私の活動の成果によって、以下のようなことが期待されると考えています。

- 発達障害のある子どもの生きづらさや学びにくさを少しでも和らげることができます。
- 生きづらさや学びにくさのある子どもの指導を担当する先生に気付きや支援方法について提案することができます。

これらのことを通じて、インクルーシブな教育の時代にふさわしい教育活動の実現に近づけるものと考えます。

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- 宗像地区の特別支援教育のサークルに参加しています。
- 北九州DN-CAS研究会に参加しています。
- 依頼を受けて小学校や中学校の巡回相談をしています。
- iPad用学習支援アプリを作り提供しています。